

## 法人の理念

キリストの愛の精神に立って、福祉サービスを必要とするすべての人に仕え、日常を支援し、常に人びとの人権を護りその人格の尊厳を尊重します。



### 今月のねらい だいすき

しいの実 友だちや保育者と遊び一緒に過ごすことを喜ぶ。

たんぼぼみ 友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ。友だちと一緒に遊ぶ中で遊びを楽しみ、広げていく。



### 一緒に

か ぜ 友だちとの関わりを深め、一緒に活動を楽しむ。

そ ら 友だちと協力して、取り組み活動する経験を重ねる。

たいよう 友だちと協力し合い、工夫して遊びや活動を充実する。



## 2月の行事

- 2日(金) 豆まき
- 15日(木)～16日(金) 制作展 PM4:30～6:30まで
- 19日(月)～20日(火) 明治国際医療大学実習(4名) 受け入れ

22日(木) お誕生会

卒園記念写真  
避難訓練…未定

個人面談…希望される方は申し出てください。

3月23日(土)は卒園式です。4歳児は共にお祝いしますので、出席をお願いします。

2023年度



# 2月園だより

冬の静けさに包まれながらも、園の中は子どもたちの明るい声が響き渡ります。2月は旧暦では大寒で一年で一番厳しい寒さを迎えますが、同時に立春とも重なる月でもあります。冬の間、土の中で育まれる生命は春に芽吹き命の輝きを放ちます。子どもたちにとって新しい歩みに向かう毎日を大切に成長を見守っていきたくと思います。



## お誕生日おめでとう



### 園外保育 (お弁当はいりません)



## お知らせとお願い

4月のクラス懇談会でもお伝えしていましたが、**園内に食べ物を持ち込まないよう気をつけてください。**

パンの袋や飴の包み紙等がよく落ちており、子どもが見つめて触ることもあります。0歳児やアレルギーを持ったお子さんが誤って口に入れてしまうと危険です。又、家で朝食を食べた後は口を拭く、洗う等もするようお願いいたします。



## 知っていますか? わらべうた

おすわりやす(京都のわらべうた)

♪おすわりやす いすどっせ

あんまりのったら

こけまっせ♪

①伸ばした足の上に  
こどもを乗せ歌いながら  
上下にゆする

②最後に足を開いて  
「ドスン!」とこどもを  
落とす。



1月13日(土)の園庭開放でわらべうたの会代表の堀口 眞奈美さんが来てくださり一緒に遊びました。

0歳児の言葉が話せない頃から、大好きな大人が心地よく歌い、優しく話す言葉に耳を傾けています。そうして自然に人の声を聞くことが、周囲の人の話を聞くことにも繋がると教えていただきました。どんな事も日々の積み重ねが大切だと気づかされるひとときでした。



円町まぶね隣保園  
京都市中京区西ノ京北円町50  
TEL (075) 462-8829  
携帯 (080) 4625-9085(緊急用)  
(080) 4625-9065

## 今月のみことば

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」  
ローマの信徒への手紙12章15節

子どもたちの様子を見てみると、なんて感情表現が豊かなのだろうと思います。さっきまで、仲良く遊んでいたかと思えばオモチャの取り合いでケンカをしたり、怒ったり、泣いたり。部屋の隅っこでカタツムリのように動かないでいる子どももいます。そして、時間が経つとクラスの子どもたち全員で笑いながら一緒に遊びだすこともしばしばあります。

又、何の見返りも期待せずに泣いている子の頭をなでたり「大丈夫? どしたん?」と声をかけたり、保育者に伝えに行ったりする姿から教えらるることがたくさんあります。

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」大人にとっては、とても難しいことだと思います。どうしても損得勘定が先に頭をよぎったり、色々と考えてしまうからです。子どもたちの方が感じたままを素直に表現し目の前の人の気持ちを汲み取って関わっていくことができるのでしょうか。

他の動物より能力が劣る人間は古来より心(気持ち)を通い合わせることで信頼関係を築き、協力して生き延びてきた経緯があります。

北陸地方で起こった大地震によって困難な状況の中で生活をしている方々を心に留めつつ、子どもたちと一緒に喜びを共有し悲しみに寄り添えるように導かれる一年となるように願います。

園長 沼津 孝治

## 苦情解決委員会

苦情解決責任者	沼津 孝治
苦情受付担当者	松尾 恵美
第三者委員	花岡 尚樹 畑 健次郎 酒井 咲子